



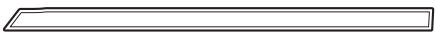
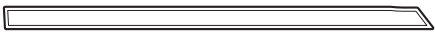
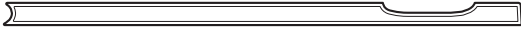
この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。
取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

- 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損の無いことを確認して下さい。
- 取り付け前に、適合車種の確認を行って下さい。
[適合車種] F R E E D 5 B A - G T 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4
 6 A A - G T 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8
- 本製品の改造、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。

TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

1. 製品を取り出す際は、梱包状態の製品の上に貼られているテープを剥がして台紙から取り出して下さい。
2. 貼り付け部に空気が残ると、熱の影響で本体が膨らみ、剥がれの原因となる恐れがあります。取り付けの際、貼り付け方向の指示に沿って、空気を押し出すように圧着して下さい。
3. 貼り付け部は十分に清掃し、イソプロピルアルコール等で十分に脱脂して下さい。（ワックスやコーティング剤の上からでは貼り付けできません。）
4. 粘着力の低下を防ぐために、製品の粘着面にはなるべく触れないよう注意して作業を行って下さい。
5. ほこりのたたない場所で作業を行って下さい。
6. 作業環境として20℃以上の温度を保てる場所での作業を推奨します。
7. 貼り付け後1日は、雨・水などで濡れないよう注意して下さい。
8. 危険ですので、当製品に加工や改造を加えるのはお止め下さい。
9. 適合車種以外の車両に使用したり、本来の目的以外に使用されますと、重大な事故に繋がる恐れがありますので絶対にお止め下さい。
10. 施工が不十分な場合や経年変化により、製品が剥がれる場合がありますのでご了承下さい。
11. フロントウィンドウ、運転席 / 助手席ウィンドウには、絶対に貼り付けないで下さい。
12. デカールの表面にワックスやコーティング剤等を塗布しないで下さい。変色したり、劣化が早まったりします。

【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.	
①	フェンダー デカール (L)	1	① 
②	フェンダー デカール (R)	1	② 
③	フロント ドア デカール (L)	1	③ 
④	フロント ドア デカール (R)	1	④ 
⑤	リア ドア デカール (L)	1	⑤ 
⑥	リア ドア デカール (R)	1	⑥ 
⑦	取付・取扱説明書	1	⑦ 

本書本文中の使用部品番号は
構成部品表に準じます。

取説

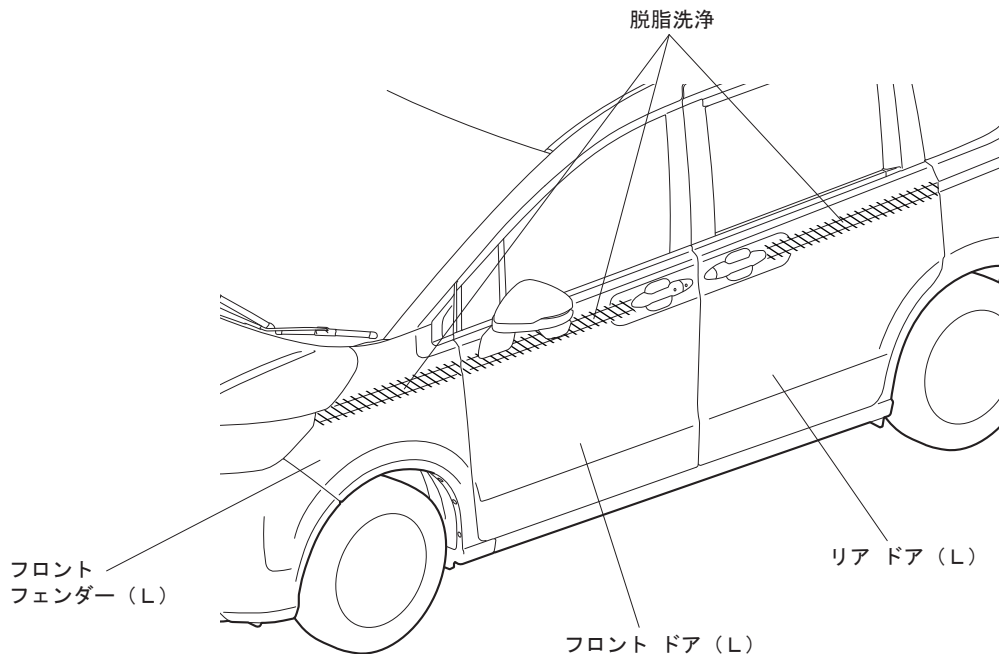
【必要工具】

- ・霧吹き ・石鹼水（中性洗剤） ・イソプロピルアルコール ・ウエス
- ・スキージ（へら）

I. ボディ サイド デカールの貼り付け

- 《注意》・ボディ サイド デカール及び車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
・作業は左右同様にすること。
・粘着テープの接着不良を防ぐ為、貼り付け後、最低1日以上は雨・水などがからないようにすること。
・作業前に貼り付け面の清掃、脱脂を行うこと。また、手や指の汚れを落とすこと。

1. フロント フェンダー、フロント ドア、リア ドアの下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。



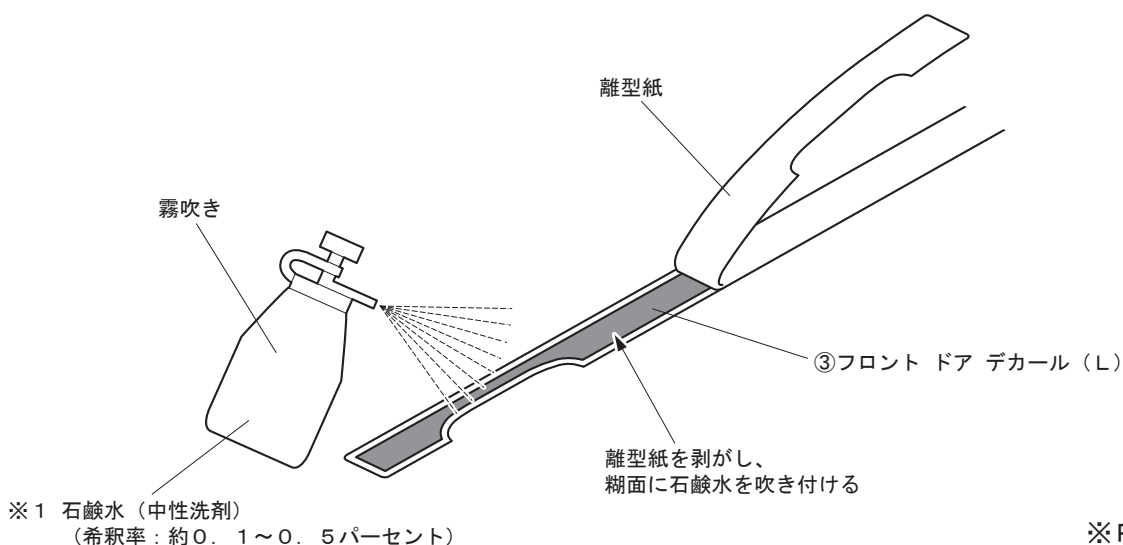
※R側も同様

2. ③④フロント ドア デカール (L/R) の離型紙を剥がし、糊面に霧吹きで石鹼水※1を吹き付ける。

※離型紙を剥がす際、製品の粘着面にはなるべく触れないよう注意して作業を行うこと。

※夏季、気温が高い場合 (30℃以上) は、多めに石鹼水※1を吹き付けること。

※離型紙は、ボディ面と平行に引きながら剥がすこと。

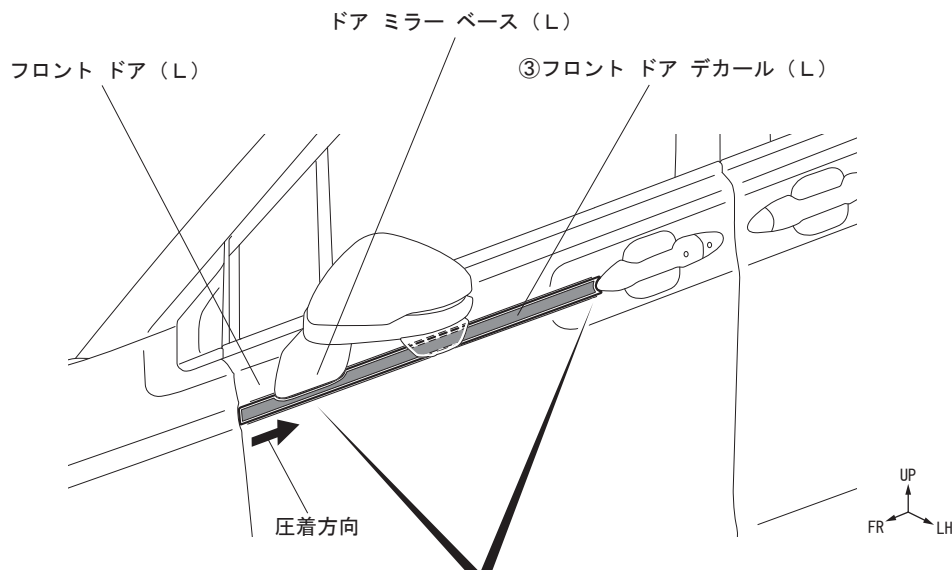


※R側も同様

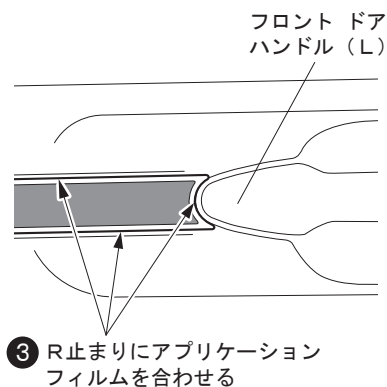
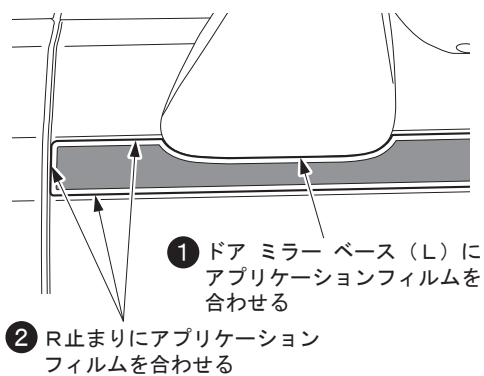
注 意

接着力を向上させる為、製品貼り付け時には作業環境温度が20℃以上の状態で行い、温度が低いときには、製品本体またはボディをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。その際、部分的に温め過ぎると熱変形する場合があるため注意すること。

3. フロント ドアに霧吹きで石鹼水（I－2※1 参照）を吹き付けて、図示位置に下記順番で③④フロント ドア デカール（L／R）を合わせる。
 ※離型紙を剥がす際、製品の粘着面にはなるべく触れないよう注意して作業を行うこと。
 ※夏季、気温が高い場合（30℃以上）は、多めに石鹼水（I－2※1 参照）を吹き付けること。
4. スキージ（へら）を使用し、③④フロント ドア デカール（L／R）を矢印の方向に圧着する。
 ※スキージ（へら）をオーバーラップさせるように当てながら、圧着残しのないよう均一に圧着すること。
 ※スキージ（へら）で製品表面に傷を付けないよう注意して作業を行うこと。
 ※貼り付け後、気泡が残ってしまった場合は、まち針等で穴をあけて、スキージ（へら）や指で針穴に向かって石鹼水、空気を完全に押し出すこと。

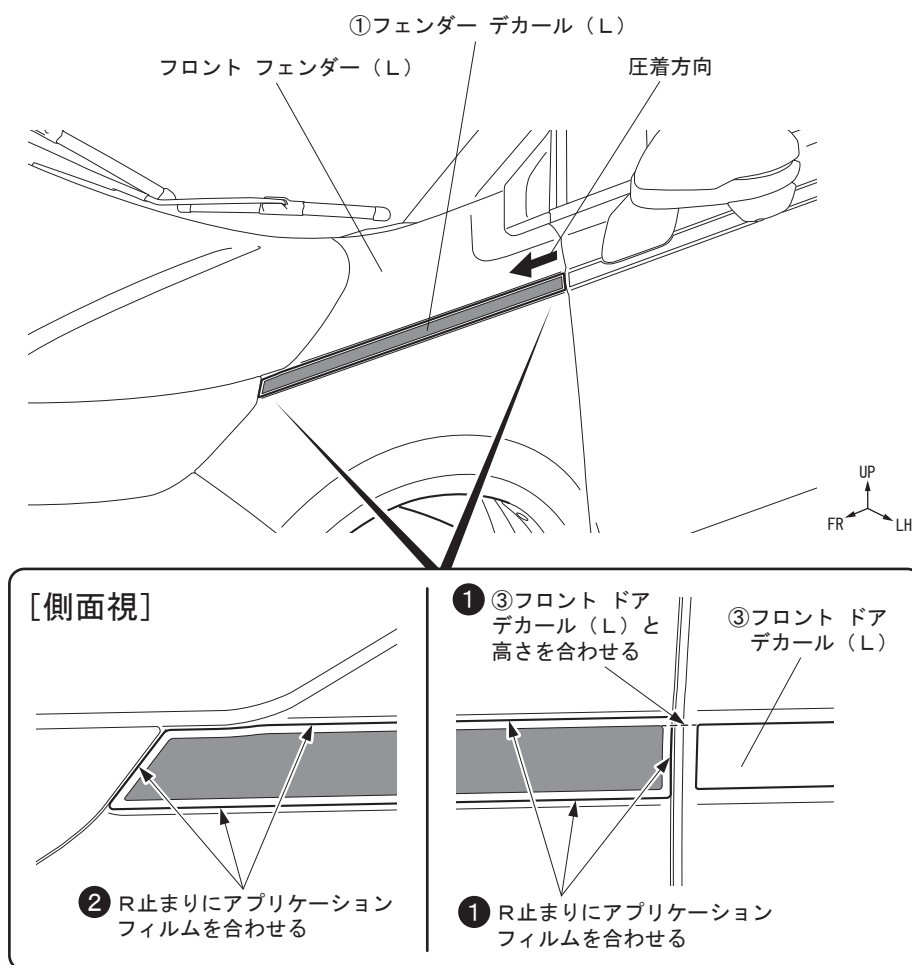


[側面視]



※R側も同様

5. I-2を参照し、①②フェンダー デカール（L/R）に石鹼水※1を吹き付ける。
6. フロント フェンダーに霧吹きで石鹼水（I-2※1参照）を吹き付けて、図示位置に下記順番で①②フェンダー デカール（L/R）を合わせる。
 ※離型紙を剥がす際、製品の粘着面にはなるべく触れないよう注意して作業を行うこと。
 ※夏季、気温が高い場合（30℃以上）は、多めに石鹼水（I-2※1参照）を吹き付けること。
7. スキージ（へら）を使用し、①②フェンダー デカール（L/R）を矢印の方向に圧着する。
 ※スキージ（へら）をオーバーラップさせるように当てながら、圧着残しのないよう均一に圧着すること。
 ※スキージ（へら）で製品表面に傷を付けないよう注意して作業を行うこと。
 ※貼り付け後、気泡が残ってしまった場合は、まち針等で穴をあけて、スキージ（へら）や指で針穴に向かって石鹼水、空気を完全に押し出すこと。

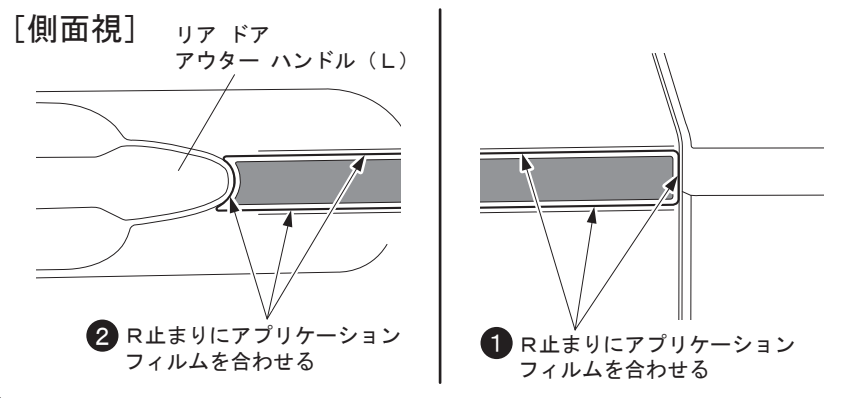
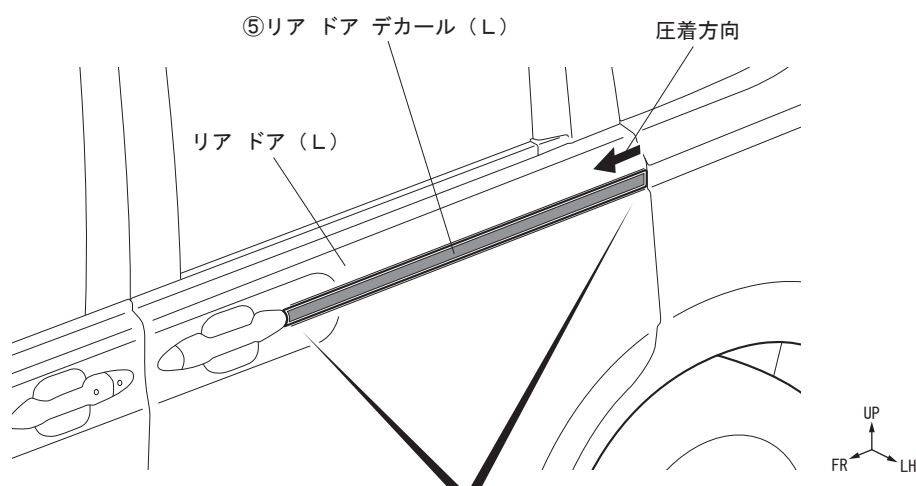


※R側も同様

注意

接着力を向上させる為、製品貼り付け時には作業環境温度が20℃以上の状態で行い、温度が低いときには、製品本体またはボディをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。その際、部分的に温め過ぎると熱変形する場合があるため注意すること。

8. I-2を参照し、⑤⑥リア ドア デカール (L/R) に石鹼水※1を吹き付ける。
9. リア ドアに霧吹きで石鹼水 (I-2※1 参照) を吹き付けて、図示位置に下記順番で⑤⑥リアドア デカール (L/R) を合わせる。
 ※離型紙を剥がす際、製品の粘着面にはなるべく触れないように注意して作業を行うこと。
 ※夏季、気温が高い場合 (30℃以上) は、多めに石鹼水 (I-2※1 参照) を吹き付けること。
10. スキージ (へら) を使用し、⑤⑥リア ドア デカール (L/R) を矢印の方向に圧着する。
 ※スキージ (へら) をオーバーラップさせるように当てながら、圧着残しのないよう均一に圧着すること。
 ※スキージ (へら) で製品表面に傷を付けないよう注意して作業を行うこと。
 ※貼り付け後、気泡が残ってしまった場合は、まち針等で穴をあけて、スキージ (へら) や指で針穴に向かって石鹼水、空気を完全に押し出すこと。



※R側も同様

注意

接着力を向上させる為、製品貼り付け時には作業環境温度が20℃以上の状態で行い、温度が低いときには、製品本体またはボディをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。その際、部分的に温め過ぎると熱変形する場合があるため注意すること。

11. 貼り付け完了後 (水が抜けた状態)、約20分間経過したら①②フェンダー デカール (L/R)、③④フロント ドア デカール (L/R)、⑤⑥リア ドア デカール (L/R) のアプリケーションフィルムを剥がす。

注意

- ・貼り付け後1日は、雨・水などで濡れないように注意して下さい。
- ・アプリケーションフィルムは、時間が経過し過ぎると剥がれにくくなります。上記時間を大きく超えないように注意して下さい。

12. 貼り付け状態が完全か確認する。
 ※施工が不十分な場合、または時間の経過により、製品が剥がれる場合があります。